

保存版

家庭学習の手引き

～自ら学ぶ習慣を身につけるために～



帯広市立大空小学校

令和3年度学校経営の重点

明日を紡ぐ大空小学校 ～新しい大空に はばたけ！！～

(1) 粘り強く学ぶ

- ①多様な手段で目標に迫る粘り強さを養う学習活動
- ②「できた」「わかった」「なるほど」に満ちた「考える授業」
- ③組織的で継続的な特別支援教育

(2) 成長を味わう

- ①成長を実感する、汗が光る体育授業
- ②「自分の体は、自分で守り自分で育てる」意欲と技能の育成
- ③家庭や地域と連携した健康で安全な生活習慣の定着

(3) 明日を描く

- ①「未来を具体的にイメージし、迫る」瞬間の蓄積
- ②「心の居場所」のある学級・学年・学校経営
- ③自他を尊重し高め合う協働的な活動

(4) 大空学園義務教育学校の創造

- ①大空学園義務教育学校開校に向けた教育課程編成・試行、研修
- ②学校運営協議会と連携した、地域への情報公開と協働活動
- ③閉校を機会とした所属感の高揚、大空学園に向けた期待感の醸成



1 「家庭学習の手引き」についての考え方

小学校の学習は、児童が将来社会生活を営む上で、自立していくための基礎となる大切なものです。学校においても、学習内容が定着するよう日々の授業の充実を中心に努力していますが、家庭と連携し、家庭における学ぶ習慣を身につけることで、より確かに定着すると考えます。そこで、本手引きを作成・配布することとしました。

保護者の皆様には、お子さんと一緒にご覧いただき、各家庭の事情や子どもの実態に合わせ、家での約束を家族で話し合いながら活用していただきたいと思います。

2 「家庭学習の手引き」を通して育てたい大空っ子の姿

家庭学習の習慣や方法を身につけた児童

基礎的・基本的な学習内容を理解している児童



基本的な生活習慣や生活時間の有効な使い方を身につけた児童

<大空小児童の家庭での様子は？>

全国学力・学習状況調査の結果から、全道・全国と比較して気になった点は、

- 平日にテレビやビデオを見る時間が長い
- 平日にテレビゲームをする時間が長い
- 平日にインターネットをする時間が長い

という児童が多かったことです。逆に、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣については、比較的良い結果が出ています。

3 これだけは身に付けさせたい基礎的な学力

- 教科書に載っている程度の文章をすらすら読めること
- 教科書に出ている漢字を読んだり書いたりすること
- 算数の教科書に出ている程度の算数の問題を解くこと



現在の学年で、確実にできるようにしておくことが大切です！

家庭学習のしかた

やくそく

- ①毎日、自分が決めた時間に机に向かいましょう
- ②テレビや音楽は消しましょう
- ③宿題があるときは、まず宿題から始めましょう
- ④机の上には学習に関係するものだけのせましょう
- ⑤終わったら、次の日の学習の準備をしましょう

時間のめやす

☆家の人と話し合って決めましょう！

学 年	時 間
1 年	15分以上
2 年	20分以上
3 年	30分以上
4 年	40分以上
5 年	50分以上
6 年	60分以上



ご家族の方へ

- ◇自分の部屋で一人で机に向かうより、リビング等で保護者の方がそばにいる方が、安心して勉強できるという報告もあります。常につきっきりの必要はありません。家事をしながらときどき声をかけたり、音読を聞いてあげることで、子どもの励みになります。（特に低学年のお子さん）
- ◇予定していた学習が終わったら、「がんばったね」とほめてあげてください。
- ◇時々、宿題、家庭学習、ノートや筆箱の中身も見せてあげてください。
- ◇外で元気に遊んだり、友だちとの交流も大切なことです。ですから、学校から帰ってすぐに勉強するということにこだわりません。大切なのは、本人が一番集中できる時間帯に学習を行うことです。

＜お家の人と一緒に読みましょう＞

1・2年生へのアドバイス



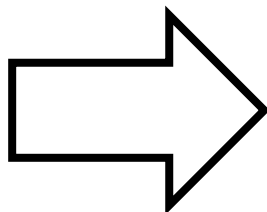
基本的な学習習慣を身につけよう！

＜家庭学習を始める前に＞

◇学校からのプリント類

◇今日の宿題

◇学習に必要な用具



お家の人と一緒に
かくにん
確認しましょう。

＜家庭学習の内容＞

こくご 国語

【音読】（声を出して読みましょう）

○今勉強しているところを、1回以上読みます。

○はっきりとした声で、すらすら読めるようにしましょう。

○「、」や「。」に気をつけて読みましょう。

○練習したら、お家の人に聞いてもらいましょう。

【文字の練習】

○正しい鉛筆の持ち方を練習しましょう。

○1年生は、習ったひらがなやカタカナを、お手本の字の形をよく見て、ていねいに練習しましょう。

○習った漢字を、筆順に気をつけて練習しましょう。

さんすう 算数

いちねんせい 【1年生】

- 100までの数を書く練習をしましょう。
- たし算やひき算の練習をしましょう。（ノート、ドリル、プリントなどで）
- まちがえた問題はもう一度やりましょう。

にねんせい 【2年生】

- たし算やひき算のひっ算の練習をしましょう。
- 九九の暗唱ができるように練習しましょう。
- まちがえた問題はもう一度やりましょう。

かていがくしゅう お <家庭学習が終わったら>

- ◇時間割を確かめ、明日の準備をしましょう。（鉛筆はけずれているかな？）



3・4年生へのアドバイス



じぶん つくえ む しゅうかん
自分から机に向かう習慣を

み
身につけよう!

<家庭学習を始める前に>

- ◇学校からのプリント類・テストをお家の人に見せましょう。
- ◇今日の宿題を自分で確かめましょう。
- ◇学習前に、勉強する場所をかたづけましょう。
- ◇テレビやゲーム・音楽などは消しましょう。

<家庭学習の内容>

こくご 国語

【音読】（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを、何回読むか自分で決めて読みます。
- 漢字を正しく、「」の部分は気持ちを込めて読めるようにしましょう。
- 練習したら、お家の人に聞いてもらいましょう。

【漢字の練習】

- 習った漢字を、「とめ」「はね」「はらい」に注意してノートに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」で書いてみましょう。

【その他】

- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べてみましょう。

さんすう 算数

- その日に勉強したところの問題を、教科書やドリルでといてみましょう。
- かけ算やわり算・四則計算は、ドリルなどを使いくり返し練習しましょう。
- 自分で答え合わせもしましょう。

りしゃ 理・社

- その日に勉強したところのふり返りを別のノートに書いてみましょう。

<家庭学習が終わったら>

- ◇時間割を確かめ、明日の準備をしましょう。（鉛筆を削る、定規やコンパスなど、明日使うものを用意する。）



5・6年生へのアドバイス

⇒ 自分で計画を立てて学習を進めてみよう!

<家庭学習を始める前に>

- ◇学校からのプリント類・テストをお家の人に見せましょう。
- ◇今日の宿題を自分で確かめましょう。
- ◇テレビやゲーム・音楽などは消しましょう。
- ◇何をどこまでやるか、自分で計画を立てましょう。



<家庭学習の内容>

国語

【音読】（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを、何回読むか自分で決めて読みます。
- 長い文章でも、正確にすらすら読めるまで練習しましょう。
- 詩や俳句・短歌などを、暗唱したり朗読してみましょう。

【漢字の練習】

- 習った漢字を、へんやつくりなどを意識してていねいにノートに練習しましょう。
- 習った漢字を用い、熟語や短文を作ってみましょう。
- 新しく習った漢字だけでなく、今まで習った漢字も少しずつ練習しましょう。

【その他】

- 国語辞典や漢字辞典の使い方になれるよう手元におき、調べる習慣をつけましょう。
- 自分で持っているドリルなどがあれば、取り組んでみましょう。
- 新聞の短い記事をノートに正確に書き写してみましょう。

算数

- その日に勉強したところの問題を、教科書やドリルでもう一度といてみましょう。
- 小数・分数の計算は、ドリルなどを使いくり返し練習しましょう。
- 教科書にのっている公式やまとめはしっかり覚えましょう。
- テストなどで間違えた問題は、問題と答えをノートに写してみましょう。

理・社

- その日に勉強したところのまとめを別のノートに書いてみましょう。

<家庭学習が終わったら>

- ◇時間割を確かめ、明日の準備をしましょう。（鉛筆を削る、定規やコンパスなど、明日使うものを用意する。）

ねんせい 1～6年生へのアドバイス



しゅくだい こくご さんすう
宿題や国語・算数の

べんきょう お
勉強が終わったら…

しゅくだい お こくご さんすう きそ べんきょう す
宿題は終わりましたか？国語や算数の基礎となる勉強も済みましたか？
それでは、こんなことにも取り組んでみましょう！

どくしょ 読書

- 物語をはじめ、いろいろな種類の本を読んでみましょう。
- 土曜日や日曜日に時間をかけて読書するのもいいですね。
- 低学年であれば、お家の人が読み聞かせたり一緒に読書の時間を持つことで、本が好きになります。
- 高学年で弟妹がいる人は、読み聞かせをしてあげましょう。



さくぶん し 作文・詩

- テーマを決めて作文を書いたり、読書感想文を書くことも勉強になります。
- 学校で習ったことを参考に、詩を書いてみましょう。（サイロに応募しよう）

たのしみながら覚えよう

- ことわざ、四字じゅく語、百人一首、慣用句、有名な文学作品の一部
 - 地図記号、都道府県名、山地や川・海の名前、日本の地方名
 - 大陸名・海洋名、世界の国名、歴史上の有名な人物、歴史上の主な出来事
 - 植物のつくり、こん虫のからだのつくり、人のからだのつくり
 - 教科書の一文をローマ字に変換
- ※他にもいろいろあるね。自分が興味を持ったら、調べてみよう！

と かた ノートの取り方

ノートを見たら、その子の学力がわかるとされています。友だちや先生に見てもらってもわかるように書くのが大切です。

- きれいにすばやく書く。
- 日付を入れ、1日1ページまたは2ページずつ使う。
(スペースにゆとりを持って使うことが大切です。)
- 線を引くときは定規を使う。
- 矢印や色えんぴつ(2～3色程度)を上手に使う。
- ちょうどよい濃さのえんぴつを使う。

